

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input checked="" type="checkbox"/> 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「地域とともに、未来につながる中友」をテーマに、ユネスコスクールが重点的に取り組む持続可能な開発および持続可能なライフスタイルを踏まえ、社会の変化に対応して自ら学ぼうとする意欲と態度をもち、問題を解決する力を身に付け、自他の幸福な人生、より良い未来を実現しようとする子どもを育成することを目標としている。

本年度は、「中友ハッピータウンプロジェクト」をもとに生活科・総合的な学習の時間を中心によりよい中友のまち（故郷）づくりを目指して学習を進めた。



3 特徴的な活動事例の紹介

中友ハッピータウン ○2年生「レッツゴー町たんけん」

校区にある銀座通り商店街における「十日市」を軸に据え、生活科・総合的な学習の時間を中心に「中友ハッピープロジェクト」を教育課程に位置づけた学習を行った。「中友ハッピータウンプロジェクト」の学習内容を「郷土」「いのち・人権」「環境」の3つのカテゴリ別に整理し、1年生から6年生までみんなで学習を進めてきた。そして、校区の目標である子どもからお年寄りまでみんなが楽しく幸せに暮らせる中友校区をめざしたいと考え、自分たちにできることを探りながら、校内や地域に向け、発信や実践を行った。

まず、中友校区にある銀座通り商店街で開催さ



れる十日市を見学したり、働く人や買い物に来ている地域の方に取材したりして学習を進めた。次に、家族や他学年に十日市の魅力をPRすることを通して、十日市を支える人々の思いや考えのよさに気付くことができ、自分たちの住むまちに愛着をもち、まちの人・もの・ことに豊かに関わることができた。(SDG11) さらには、中友小バザーにおいては、自分たちで育てた野菜の販売にも携わり、これまでの学習を生かした活動ができた。



○5年生「みんながつながる中友校区を目指して」

5年生は、年間を通して、子ども民生委員活動として、校区の民生委員さんと共に活動を続けた。地域の高齢者宅を訪問、中友公園清掃、敬老の日プレゼント作り、絵本教室、ほっとあんしんネットワーク模擬訓練に参加した。(SDG 3) 様々な実践を通して、「自分たち小学生の取組をととても喜んでもらったこと」や「自分たち小学生にも地域のためにできることがたくさんあること」に気付くことができた。これらのことから、生涯にわたり幸せな地域になるように、もっと自分にできることを考え実践してみたいという思いを膨らませることができたと考える。



3 今後の活動計画

令和6年度も本校では、「中友ハッピータウンプロジェクト」を中核に、生活科・総合的な学習の時間を中心としたよりよい中友のまち（故郷）づくりを目指して学習を進めていきたい。また、子どもたちが継続的につながり、関わりを深める課題解決活動ができるとともに、主体的な学びが展開できるように、6年間を通した単元の工夫をしていきたい。

具体的には、

- ①低学年では身近な地域の人・もの・ことにかかわる学習
- ②中学年では、福祉や地域の環境にかかわる学習
- ③高学年では、地域の福祉や文化、歴史にかかわる学習、地域を元気にする活動を計画していく。